



医療法人社団萌気会
 在宅療養支援診療所(二日町)
 在宅療養支援有床診療所(浦佐)

4

Vol. 371
 2023/4.15

もえぎ

ひぐちとむえ さん書



満開の桜に包まれる二日町診療所
 撮影地:二日町診療所
 撮影者:小林 順正



さくりの郷の桜も満開です

人工知能胃カメラを導入! /
 デジタル技術でサービスを変革 2
 さくりの郷 笑顔月間 3
 黒岩卓夫一代記 4
 コミュニティーフリッジ
 「みんなの冷蔵庫」活動について 5
 みんなの冷蔵庫・みんなの食堂 6
 SNS紹介 / コラム 7
 うちの利用者さん / ふみ /
 黒岩会長お誕生日 / 編集後記 8



人工知能胃カメラを導入！

萌気会 理事長
萌気園浦佐診療所 院長 黒岩 巖志



内視鏡の買い替えの時期になったため、2023年3月、萌気園浦佐診療所に人工知能を搭載した最先端胃カメラを導入いたしました。

消化管内視鏡における人工知能による診断サポートは(株)富士フィルムがまず大腸カメラにおいて開発し2020年に発売されました。同社は胃カメラにも搭載しようと開発を進めていましたが胃癌の形状が多彩であるため実用化に時間を要し2022年12月ようやく発売されました。人工知能が搭載された胃カメラは、新潟県内ではまだ数台しか導入されていないとのことと先駆けとなりました。

人工知能は小型の早期食道癌、胃癌を瞬時に検出し、対象領域を枠で囲って表示するとともに報知音を發します。医師に対して視覚・聴覚で注意喚起することによって、医師が画像を解釈し病変を検出することを支援します。写真に示した胃カメラ画像の中央にある水色の枠が人工知能が検知した病変です。

また、胃の中の見落とされやすい部位をしっかりと観察しているかをチェックしてくれる機能も搭載されています。写真の胃カメラ画像の右下に胃の絵が書いてありますが、見落とされやすい部位にグレーの太線が引いてありそこをしっかりと観察し撮影するとグレーの太線が緑色に変わり、全て緑色になると報知音を發します。

医師と人工知能のダブルチェックで胃癌・食道癌を早期に発見することにより皆様の健康維持の一助となることを期待しております。



デジタル技術でサービスを変革

萌気園二日町診療所
検査科主任 岡村 健義

二日町診療所は紙カルテを始め、医療情報の多くをアナログで保管・管理しており、ほぼデジタル化が進んでいない現状です。

数年前から国もデジタル庁という機関を作り、多方面でデジタル化を推し進めています。その一つ医療分野でも電子化を推し進めています。マイナンバーカードもその一例です。

世界中で感染拡大した新型コロナウイルス感染症の影響もあって、リモートワークなど、新しい業務の形やサービスが生み出されました。医療もその流れに乗って、形を変えていく必要に迫られています。オンライン診療などがその例に上がります。今後さらに高齢化率は上がっていき、医療提供体制の地域格差は開くばかりです。デジタル・AI技術を用いる事で医療では、時間やコストを軽減していかなくてはなりません。浦佐診療所では新しい内視鏡システム・医療AIを導入し、画像診断支援を用いての検査を開始しました。これもデジタル化の一步です。我々医療従事者も臆することなく、有用な技術を取り入れ、新たなサービスを提供していく必要があると日々感じています。



さくりの郷 笑顔月間



さくりの郷では三月を笑顔月間とし、利用者さんの笑顔を引き出すためにいろいろとチャレンジしてみました。踊りや手品、ぼたもち作り、ハーモニカ、かさ地蔵演劇を行いました。たまに真面目な話をしたり…。努力の成果を御笑覧ください。



3/3ドンぱん節踊り
腰のキレが大事!



3/17手品
この後一大事!?



3/21ぼたもち作り
毎年の恒例行事!



3/23ハーモニカ演奏
玄人の芸事!

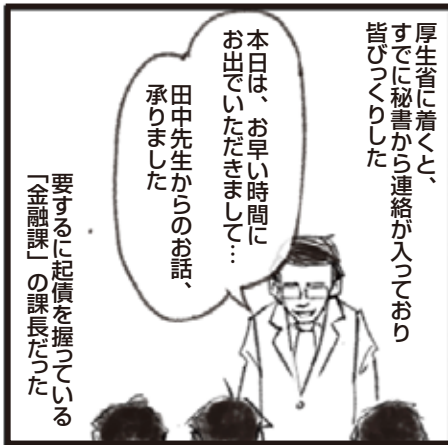


3/31かさ地蔵演劇



第29話
角栄さんの目白
訪問

昭和47年6月



大和町が病院づくりにスタートという年、1973年思いがけない「オイルショック」が世界中を巻き込んだ。日本も大きな打撃を受けて、この年は国が新しい仕事は一切しないことになった。病院の補助も決まったが、一年執行が延期された。病院の機能や設計を検討するにはかえって良かったのかもしれない。しかしその超過労で卓夫は脳梗塞になり、1ヵ月位はしゃべれなかった。当時はCTもMRIもなく、病状から病名をつけるだけだった。



コミュニティーフリッジ 「みんなの冷蔵庫」活動について

萌気会 事務局長
上村 光男

私たち、実行委員の有志は萌気会の黒岩会長と共に2021年（令和3年）9月1日から浦佐の普光寺様の社務所横にどなたでも利用出来るコミュニティーフリッジ「みんなの冷蔵庫」を設置、営利を目的としない活動を行っています。設置の目的は「100年に1度の危機」とも言われる新型コロナウイルスの拡大は様々な事情で社会から一定の距離をとり、ひっそりと息をひそめて暮らしている母と子に経済的困窮と言う大きなダメージを与えました。新型コロナ感染は少し落ち着いていますが、昨今の物価高がそれに追い打ちをかけています。少しでもそうした方々の支援が出来ないか、地域貢献につなげたい思いからこの活動を続けています。

今年の9月で2年を迎える所です。当初は何をしているの？何の事？など地域の皆さんや萌気会の職員から言われましたが、徐々に皆さんにも浸透し職員からも余った食材や野菜の提供を受けています。地域の皆さんからもお米や野菜、缶詰などを提供していただく事も多くなっています。感謝しています。開始当初は順調に食品などの提供と必要な方が自由に持ち帰る事が出来ていたのですが、1年ほど前から浦佐地区のある男性が2～3日毎に冷蔵庫の食品を一人で大量に持ち帰る事が発覚しました。我々も防犯カメラの設置はしており人物の特定はしておりました。節度のある利用を書面で促し本人にも直接改めるように話しましたが改まる気配がありませんでした。仕方なく警察に相談し警告文と写真を冷蔵庫に張り出しました。提供する側のルールを提示しルールに従わない場合は利用を拒否する事は当然の主張とアドバ

イスを貰い、何かあれば相談に乗りますと話をもらいました。その後、この件は収まりを見せています。

我々としては想定外の事が起こり、一時どうにもならなく撤退も考えていました。しかし、折角地域の方にも少しずつ浸透し、支援を喜んでくれていた方の笑顔を思い出した時、ここで諦めてはならないと再び継続する覚悟も生まれました。現在はSNSでも発信していますが、登録制や大きな倉庫内での有人での対応など考える時期なのかも知れません。

並行して活動している、こども食堂（地域食堂）も2021年8月から昨年まで6回開催しました。冬場の開催が難しい中ですが2023年も4月23日に1回目を開催します。今年は5回～6回の開催を目標に実行委員の有志と氣勢を上げている所です。毎回手の込んだ料理で2022年11月の開催では45分で100食が完売しました。支援が必要な方へも届いていると嬉しいです。どちらの活動も継続する事が一番大事と考えています。有志の実行委員やボランティア頼みではありますが楽しみながら、地域の皆さんに喜んでもらえる活動を続けて行きたいと思えます。新年度を迎え新たな気持ちで頑張りたいと思えます。皆さんも活動に興味を持ってもらえたらありがたいです。



「みんなの冷蔵庫」再開のお知らせ

*「みんなの冷蔵庫」は必要な食料や日用品を自由に受け取れる仕組みです。

普光寺樺沢賢正住職のご厚意により、普光寺に一台設置させていただきました。

お互いさまの気持ちで「みんなの冷蔵庫」の活動を行って参りましたが、一握りのルールをお守り頂けない方々の行動により一時期活動を縮小せざるを得ませんでした。縮小により多くのご利用者様にご不便、ご迷惑をお掛けしてしまい心よりお詫び申し上げます。

麗らかな春の陽気が続く頃となり「みんなの冷蔵庫」も落ち着きを取り戻して参りました。地域の皆様、萌気会の皆様の力をお借りし、4月より本格的に再開をしたいと思えます。

今後とも「みんなの冷蔵庫」の活動にご理解、ご協力いただけるよう、お願い申し上げます。



communityfridge

みんなの冷蔵庫 みんなの食堂



「お寺冷蔵庫」

4月23日（日）今年初の「みんなの食堂」を萌気園大和通所介護「地蔵の湯」にて開催いたします。

開催にあたり、令和4年度（赤い羽根共同募金助成事業 こども食堂助成）より50,000円の支援を賜りました。関係者一同、心より感謝申し上げます。

今回の開催より、SNS(DM)・E-MAILにてご予約を承ります（電話での予約は承っておりません）4月20日（木）までにご予約をお願いいたします。氏名、連絡先、希望数（子ども/おとな）をお知らせください。予約無しでも参加可能です！

また、ご予約の特典としてスイーツをプレゼントいたします。

もち豚BBQ・ドライカレー
限定150食
（完全テイクアウト）



予約受付中

SNSのDM、E-MAILよりご予約を承ります。
4月20日（木）締切

氏名・連絡先・希望数（子ども/おとな）を
お知らせください。

予約無しでも参加可能です！
ご予約の方に、スイーツプレゼント！

※写真はイメージです。

4/23
（日）

11:30～

なくなり次第終了
（予約者優先になります）

大人:100円・小人:無料

場所:大和通所介護「地蔵の湯」



問い合わせ先 医療法人社団萌気会 法人事務所

☎ 025-781-6155 担当:上村・田中

医療法人社団
萌気会
高屋肖哲の「千児観音」
チャリティ・美術展実行委員会
TEL: 025-781-6155



<https://www.moegi-mirai.jp/>

LINE公式アカウント
はじめました♪

友だち追加で、
食料品の入荷
や
イベントの開催情報
を配信します



*食料品・日用品をご寄付くださった方へ
ご寄付・ご支援頂きました内容を
コメントにてお知らせください。

QRコードから
友だち追加



Moegi_mirai@moegien.jp

安心コラム 日米安保条約下の軍事同盟化

日米安全保障条約は、名の通り日本と米国の軍事同盟条約である。日本が1951年9月に、米国側の国々との講和条約が成立し、国際的には半独立国になった。同時に日米安保条約が成立し、その中身は米国が軍事的には日本を守るので日本中に米軍基地を置くというもので米国の世界戦略だった。今でも沖縄は苦悩している。

そして1960年に10年となり1回改訂が可能で、その内容に反対して60年安保闘争が発生した。この条約は、日本が自衛隊を核に軍事化し、日本の自立への強化と同盟の強化が米国から認められるものだった。

この60年(昭和35年卓夫医学部三年、大学入学から言えば5年)の6月15日には、国会構内へ乱入し、東大文学部の樺美智子さんは死亡し、卓夫は8時間意識不明の重症を負った。

この時の改訂は今でも骨格が維持され、悪智恵の取扱いの変更で前回記した通り、敵となればミサイルを撃てる同盟に“成長”した。「戦争放棄と武器を所有しない」国の“お化粧は”どうしたら人目を誤魔化すことができるのか。まず自分たちで話し合ってみよう。



Dr. T. Kuroiwa

うちの利用者さん

萌気園浦佐有料老人ホーム「ハイマートハイム・島田」

市内に生まれ、若い頃は富岡製糸工場で働かれた事があるそうです。ハイマートハイム島田に入居した際、その頃一緒に働かれていた方と再会され嬉しかったそうです。その方は転居されましたが、時々お手紙のやり取りをされています。

ハイマートハイム島田では他入居者さんと共有スペースでお話をされたり、トランプをしながら楽しく過ごされています。週に一回のデイサービス利用による外出も、良い気分転換となり喜ばれています。

これからもお体に気をつけて、元気に楽しいハイマート生活をお過ごしください。



羽賀 キコ様



いつもお世話になり、大変ありがとうございます。

1月22日、父 友房は、98才の生涯を終えました。昭和から令和と働き続け、頑張った父、その姿は後に残る私たちにお手本を示してくれたように感じます。

晩年の父は美佐島の自宅でほとんど笑顔を見せることがなかったと母より聞いております。しかし、すみれ草様にお世話になり、四季折々のイベントで笑顔を見せ、最後は心安らかに最期を迎えましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。

家族一同お礼申し上げます。
ありがとうございました。

〈萌気園老人ホーム「すみれ草」

戸田 友房様ご家族〉

黒岩卓夫会長 86歳おめでとろございます!!



浦佐診療所



三日町診療所



編集後記

看護小規模多機能居宅介護「コム・ソフィ&ナース」

佐藤 陽香

新年度を迎え、春の日差しも心地良い季節になりました。桜の便りが年々早く聞かれるようになり、東京ではお彼岸の頃には五分咲き・八分咲きでお花見へ出かける人々でコロナ禍前と変わらぬ賑わいを見せていました。南魚沼ではふきのとうが顔を出し、春の匂いを感じられる日が増えてきましたが桜の開花にはまだまだ時間がかかりそうですね。

来月からコロナウイルスは季節性インフルエンザと同じ第五類へと分類されます。花粉症など大変な季節ではありますが、引き続き自分のできる感染予防を続けて過ごしましょう。



利用者さん達と一緒に作った桜の壁面